

塩味病院 地域包括ケア病床のご案内

2024年6月より「地域包括ケア病床」の運用を開始いたしました。

地域包括ケア病床とは

『地域包括ケア病床』は、急性期治療を経過し、病状が安定した患者さんに対して、住み慣れた地域での療養（在宅や一部の介護施設への復帰）を支援する病床です。

一般に、病院での治療が終了すると退院となりますが、高齢者では入院を契機に自立能力が低下しやすいため、環境や生活等を適切化して再入院を防ぐ必要があります。『地域包括ケア病床』はその支援をする病床です。

適切な治療・生活環境を構築するため、服薬調整、栄養支援、療養相談や指導、機能訓練等を行い、住み慣れた場所での療養をサポートします。



【入院中の患者さんの例1】

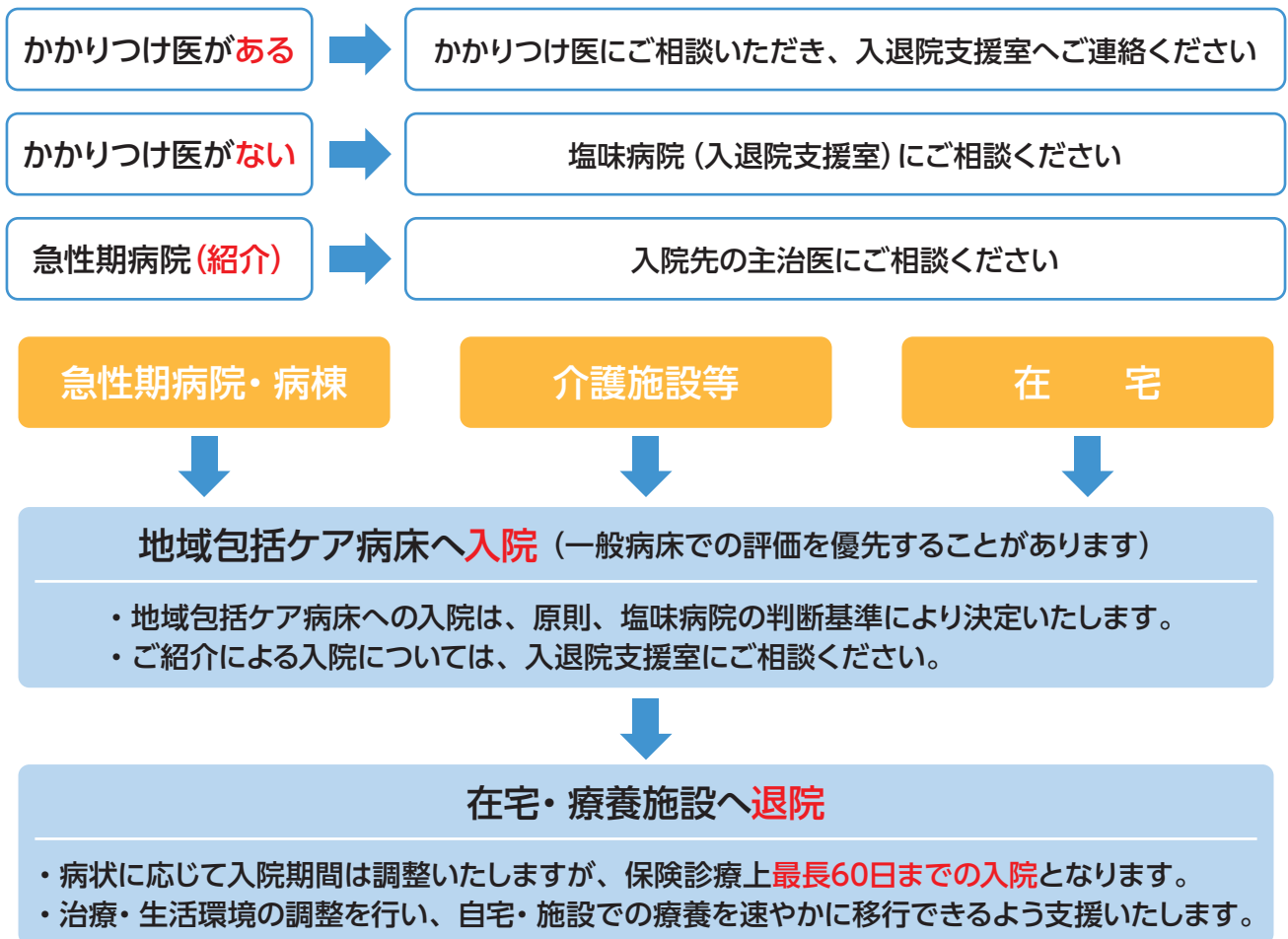
糖尿病治療中の高齢者が肺炎で急性期病院（自院または他院にて）に入院し治療を受けた。治療後、体力が低下し薬剤がふえた。老老世帯であり、自宅での生活に不安がある。自宅生活を支援するため、薬の調整と服薬・生活指導の目的で地域包括ケア病床へ転院。

【自宅療養中の患者さんの例2】

自宅で転倒。近医にて腰椎圧迫骨折と診断され、自宅安静を指示された。疼痛に加えて認知機能低下もあり、ベッドで寝てばかりいるため、在宅での療養が困難。かかりつけ医と相談し、入退院支援室に紹介受診。介護サービスの調整目的で地域包括ケア病床へ入院。

介護サービスの調整目的で地域包括ケア病床へ入院

入院・退院までの流れ



患者さん・ご家族へのお願い

入院時に「入院診療計画書」で医師が入院期間の目安をご説明します。その入院期間を想定しますが、状況により入院期間は修正されますのでご了承ください。

地域包括ケア病床は、入院時に計画した入院期間を経て、退院を支援する病床です。多職種協働のチーム医療で患者さんやご家族のサポートをしていきます。心配や不安な点がございましたら、お気軽に病棟スタッフにご相談ください。

病状の変化により集中的な治療が必要な場合は、急性期病棟に転棟していただく場合がございます。

入院期間が60日を超えることが予想される場合は、院内の他病棟もしくは他院・他施設での医療や療養に移行する場合がございます。

入院費について

地域包括ケア病床は一般病棟とは異なり費用は定額です。

一般病棟より自己負担額が増額する場合がありますが、医療費の負担上限は一般病棟の場合と同じです。入院費以外の費用(食事・1日定額制サービス等)は、一般病棟と同じです。